

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	通年
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認 【到達目標】 年間のスケジュールが理解できるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について 【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる 【評価】 出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Advance Hairmake Design I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷/今井
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜1～4 金曜1～4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
桐谷) 美容サロンで5年以上勤務しTV、雑誌のヘアメイクを経験後渡英。イギリスにてサロンワーク、コレクションヘアメイクを経験し帰国。帰国後はサロンディレクターと兼任して、フリーランスとしてヘアメイク事務所に所属し、講師、コレクション、スチール、TV等のヘアメイクに従事。 今井) 音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。							
ヘアアレンジ基礎技術の習得 応用の習得 作品撮りやコンテストに向けての創作ヘアメイクの技術を学ぶ							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアーの基礎技術を深めながら、新しい技術を学ぶ事で、バリエーションを増やす事が出来、スチールやコンテストに向けて、レベルアップした作品が作れるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1年次のヘアー復習／基礎技術と新しい技師を学ぶ事でレベルアップする						
2	1年次のヘアー復習／基礎技術と新しい技術を学ぶ事でレベルアップする						
3	スチール導入(コンセプト、規定等)／ヘアメイク練習(2クラス合同授業)						
4	スチール用コンセプトシートチェック(モデル写真用意)/スチール前の事前準備					10点	
5	ヘアー基礎/ヘアー技術/バリエーションを学ぶ						
6	ヘアーの構成を学ぶ／アレンジの発想力を高める						
7	ヘアーの構成を学ぶ／アレンジの発想力を高める						
8	中間テスト					20点	
9	スチールヘアメイク練習/画角を考えながら試作						
10	スチールヘアメイク練習(最終チェック)/画角を考えながら試作						
11	コンテスト導入(コンセプト、規定等)／コンセプトシート、ラフ案作成(2クラス合同)						
12	ヘアーの構成を学ぶ／アレンジ(エクステンションやヘッドパーツなど)						
13	コンテストヘアメイク試作/360度で見せるヘアメイクの作り込みを考える					10点	
14	コンテストヘアメイク試作/360どめ見せるヘアメイクの作り込みを考える						
15	定期テスト (コンテスト内容、コンセプトシート完全版提出)					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	photo shooting II	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷 今井 秋本 久保 堤 鈴木
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れた実習を実施する。 〈講師経歴〉 桐谷:美容サロンで5年以上勤務しTV、雑誌のヘアメイクを経験後渡英。イギリスにてサロンワーク、コレクションヘアメイクを経験し帰国。帰国後はサロンディレクターと兼任して、フリーランスとしてヘアメイク事務所に所属し、講師、コレクション、スチール、TV等のヘアメイクに従事。 今井:音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。 秋本:外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中 久保:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年) 堤:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージなどで活動。化粧品ブランドアーティストとしても約12年現役で務める。 鈴木:外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年)							
【授業を通じての到達目標】							
自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】スタジオワークデモンストレーション 【到達目標】撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認する						
2							
3	【授業単元】イメージヘアメイク 【到達目標】イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける						
4							
5	【授業単元】クリエイティブヘアメイク 【到達目標】フォトコンテストで賞を受賞するような作品のディレクションやアイディアを研究する						
6							
7	【授業単元】スタジオワーク 【到達目標】個人用作品の充実を図る						
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	advance hairmake designⅢ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保 鈴木
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	水曜日、金曜日
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
久保/ 外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年) 鈴木/外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年)							
メイク基礎技術の習得 応用の習得 作品撮りやコンテストに向けての創作メイクの技術を学ぶ 年代別やシーン別の特徴に合わせたメイクアップを学ぶ							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応 出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	Practical make(トレンド)					5	
2	Practical make(トレンド)						
3	Practical make(コントアリング)						
4	スチールに向けて(コンセプトシート)の説明(8回目に回収)					5	
5	Practical make(ネオンデザイン、変形ライナー)						
6	Practical make(スモーキー)						
7	Practical make(骨格、配色)					20	
8	中間テスト						
9	スチールに向けて					5	
10	スチールに向けて(最終チェック)						
11	Practical make(肌作り)						
12	Practical make(骨格、配色)					5	
13	期末テスト						
14	コンテストに向けて(実技)						
15	コンテストに向けて(実技)					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	photo shooting II	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷 今井 秋本 久保 堤 鈴木
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れた実習を実施する。 〈講師経歴〉 桐谷:美容サロンで5年以上勤務しTV、雑誌のヘアメイクを経験後渡英。イギリスにてサロンワーク、コレクションヘアメイクを経験し帰国。帰国後はサロンディレクターと兼任して、フリーランスとしてヘアメイク事務所に所属し、講師、コレクション、スチール、TV等のヘアメイクに従事。 今井:音楽系芸能プロダクションにヘアメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアメイクにて活動中。 秋本:外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中 久保:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年) 堤:外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージなどで活動。化粧品ブランドアーティストとしても約12年現役で務める。 鈴木:外資系ブランドで2年間勤務後フリーランスと活動。主にメンズ、ステージメイク等を行っている(10年)							
【授業を通じての到達目標】							
自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】スタジオワークデモンストレーション 【到達目標】撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認する						
2							
3	【授業単元】イメージヘアメイク 【到達目標】イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける						
4							
5	【授業単元】クリエイティブヘアメイク 【到達目標】フォトコンテストで賞を受賞するような作品のディレクションやアイディアを研究する						
6							
7	【授業単元】スタジオワーク 【到達目標】個人用作品の充実を図る						
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファイナルコンテスト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 1年次および2年次前期の学びを活かし、独創的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】 モデルを対象に、コンセプト通りの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 コンセプト作成および仕込み 【到達目標】 ・テーマを基にイメージを膨らませ、コンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に必要な材料をそろえる ・モデルに対し、事前に衣装合わせなどを実施する						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	【授業単元】 コンテスト発表 【到達目標】 ・コンセプトシートを基にモデルにヘアメイクを施す ・制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う 【評価】 審査員および指導教員の評価により100点満点にて評価する						
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●事前審査および当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッション講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前嶋
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。							
〈講師経歴〉 前嶋:美術学科卒業後、広告宣伝業務約20年携わりファッションコーディネートについての業務も担当。							
【授業を通じての到達目標】 基本知識を活用し、トレンドを取り入れたコーディネートができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 授業概要理解 【到達目標】 ネクタイの結び方(2種)を体得する。授業概要を理解する。						
2	【授業単元】 自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表) 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
3	【授業単元】 自分に似合う色と柄を知る② 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
4	【授業単元】 中間テスト 帽子の正しいかぶり方 【到達目標】 帽子の種類(由来やかぶり方)を理解する。						
5	【授業単元】 クローゼットに眠っている物を活用する方法 【到達目標】 シルエットを考察し、着方を発見する。						
6	【授業単元】 小テスト 新しい考え方のポイントを知る 【到達目標】 ストリートファッションとは。ユニバーサルデザインとは。新素材や形の扱い方を理解する。						
7	【授業単元】 黒い服と白い服① 【到達目標】 バランスをとる方法を理解する。						
8	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 4種のトレンドマップを提出する。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界特別授業	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティストの実演を通してヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 ヘアメイク事情 【到着目標】 ヘアアーティストとメイクアップアーティストの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 ヘアメイクアーティストの技術実演① 【到着目標】 制作プロセスから見学し、自分の作品制作に活かすことができる						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅲ (Hairmake synthesis technique Ⅲ)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	東村	
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 HMB: 奇数週 火曜1ー4 HMC: 偶数週 火曜1ー4	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
現場経験から実践で求められるスキルをジャンルに合わせて授業します。								
映画、ドラマ、広告、ファッションスチル、イベント、ショーまで、様々な現場を経験したキャリア20年以上の現役ヘアメイク講師が、学校の授業でありながら、出来るだけ現場の雰囲気イメージできる授業内容を実施します。 学生が実際にカメラマンとセッションしながら撮影を重ね、個人作品に反映させていきます。								
【授業を通じての到達目標】								
与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンが出来るようにする。自己判断、好みに走り過ぎないように、クライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とします。 授業を通じ、現場で何が求められてるか考え行動出来るようにし、即戦力になるスキル、マインドを身につけます。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(ピンタレスト等)を利用し、ジャンル別にヘアメイクビジュアルをまとめ、フォルダリングしていく。				
回	授 業 概 要				日程	テスト配点		
1	【撮影デモンストレーション】 オリエンテーション。講師によるデモンストレーション。				1	B 4/16(1-4) C 4/23(1-4)		
2	【質感、テクスチャーについて／スチル撮影の準備】 プロダクトの効果と質感を学ぶ。中間テスト撮影に向けた準備。							
3	【メイクテクスチャー①／メイク】 メイクアップの質感を操作する。				2	B 4/30(1-4) C 5/7(1-4)		
4	【メイクテクスチャー②／メイク】 ポイントメイクパターンを使い分ける。							
5	【ヘアーテクスチャー①／ロングヘアー】 髪の状態に応じたベースメイクとアイロンワーク。				3	B 5/14(1-4) C 5/21(1-4)		
6	【ヘアーテクスチャー②／ショートヘアー】 メンズヘアー、ショートレングスのスタイリング。							
7	【中間テスト／撮影】 ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。				4	B 5/28(1-4) C 6/4(1-4)		
8	【中間テスト／撮影】 ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。							
9	【ウィッグメイキング】 ウィッグのカットとスタイリング				5	B 6/11(1-4) C 6/18(1-4)		
10	【サブカルヘアメイク】 作成したウィッグを元に、サブカルスタイルに仕上げる。							
11	【撮影リハース①／ヘアーメイク】 定期テスト撮影を想定した実習。				6	B 6/25(1-4) C 7/2(1-4)		
12	【撮影リハース②／ヘアーメイク】 定期テスト撮影を想定した実習。							
13	【定期テスト／撮影】 フォトコンテストに向けたヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。				7	B 9/3(1-4) C 9/10(1-4)		
14	【定期テスト／撮影】 フォトコンテストに向けたヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。							
15	【撮影総評】 撮影作品の総評。後期に向けた取り組み。				8	B 9/17(1,2) C 9/17(3,4)		
【特記事項】				【評価について】				
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点				
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失) F評価(0～59点・不合格)				
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

科目名 (英)	業界研究Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	通年 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
〈教員経歴〉 今井/阿部/松岡:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している 宮崎:芸術系大学卒業し、芸術学士取得。ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを経て、本校にて20数年間指導にあたる							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ)						
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り 【到達目標】ヘアメイクの仕事を一時的な視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界特別授業	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティストの実演を通してヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 ヘアメイク事情 【到着目標】 ヘアアーティストとメイクアップアーティストの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 ヘアメイクアーティストの技術実演① 【到着目標】 制作プロセスから見学し、自分の作品制作に活かすことができる						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	相互支援演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岩本・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラス全体でファッションを考え、競技に取り組むことで、協調性を養い、クラス・学科間の相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
・競技参加種目を決める ・クラスごとに衣装のコンセプトを決める ・当日を楽しみ、仲間を応援する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 参加競技決定 役割・委員決め 衣装決定 【到達目標】 クラス内で役割を決め、参加する競技を決める クラスごとにコンセプトを基に衣装を決める 小テスト・中間テスト:事前準備の積極性にて評価 40点満点						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 行事当日 各種目に参加する 【到達目標】 各自与えられた役割を基に、競技に参加し、行事を運営する。 応援を通し、相互支援関係を構築する。 【定期テスト】 当日の出席・競技の積極性・応援の積極性等にて評価60点						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	特殊メイク演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	東村
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
学科・コース		ヘアメイク科					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。							
〈講師経歴〉 東村：ヘアメイク歴15年。東京を拠点にサロンワーク、ファッションショー、モード誌、広告撮影、ドラマ、映画、舞台、幅広いジャンルで活躍中。							
【授業を通じての到達目標】							
舞台メイク基礎を学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】舞台メイク教材基礎知識 【到達目標】発汗に強いベース作り						
2	【授業単元】ベース作り 【到達目標】ベース作り～立体感・陰影作り						
3	【授業単元】小テスト ベース作り 【到達目標】ベース作り～完成まで						
4	【授業単元】ポイントメイク基礎Ⅰ 【到達目標】ポイントメイクの基礎をおさえる						
5	【授業単元】ポイントメイク基礎Ⅱ 【到達目標】ポイントメイクの基礎を実践する						
6	【授業単元】小テスト 舞台映えメイク 【到達目標】全体のバランスを考慮し、舞台上で映えるメイク完成						
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】相モデルで時間内に完成させる						
8	【授業単元】ボディペインティング 【到達目標】ボディペインティング教材基礎知識、ボディアート実技						
9	【授業単元】舞台メイクとボディペインティング 【到達目標】舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させる						
10	【授業単元】舞台メイクとボディペインティングⅡ 【到達目標】舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させ仕上げる						
11	【授業単元】舞台メイク応用 【到達目標】舞台メイクを応用させ、実践する						
12	【授業単元】キャラクターメイク 【到達目標】キャラクターメイクに特化して学						
13	【授業単元】作品作り 【到達目標】定期試験に向けての作品作り						
14	【授業単元】作品作りⅡ 【到達目標】定期試験に向けての作品作り						
15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】舞台メイク応用で学んだ技術を生かしボディアートを取り入れた作品を仕上げる						
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			